

「2023年度中国・香港中文大学サマースクール派遣参加報告書」

京都大学法学部2年 福山 暖人

1.
次年度に交換留学を控える自分にとって今回のプログラムは非常に有意義な経験となった。日本人が大半を占めてはいたが、様々な国籍の学生を交流することができ、且つ生活を共にしていく中で異文化に直面した上で、互いの文化を自身を含め相互に尊重し理解を示し合う様子は、まさに現代における人的なグローバルのあるべき姿ではないかと感じました。大学での学習についてまず述べたいのは、素晴らしい先生と学習環境のもとで中国語の勉強ができたことです。午前午後の授業ともに先生の生徒に寄り添い熱心に指導していただいたことは、間違いなく3週間の行程を走り切るために不可欠な要素であったように思えます。また、寮には24時間使用可能な自習室があった為自身の望む勉強サイクルで学習ができました。私的なことにはなりますが、自身にとって海外の人と生活を共にする経験がなかった為、自身の英語力にはまだまだ改善の余地があることを痛感することができました。
2.
放課後、土日は自由に行動することが出来た為、様々な所を訪れることができました。ローカルな所では、英語、マンダリンが通じない中で地元の方達が総出で料理の注文を助けてくれたりと、“一期一会”の素晴らしさを感じ入ることができました。個人的な感想として、香港の料理そして夜景が言葉を絶するほどに素晴らしく、自身が海外を訪れてきた中で初めてリピートしたいと思える国に出会えました。
3.
プログラムはきちんと計画されており、円滑且つコンテンツも素晴らしかったのではと思います。ただ、言語の学習において3週間の学習のみでは意味をなさないと思います。各々が香港で学び、意欲、モチベーションを刺激され、帰国後に継続して学習を行なっていけるかが何より重要であると考えます。この先この経験を糧により一層の努力を行って初めてこのプログラムは成功と言えると思うので、今後も頑張っていきたいです。
4.
香港の街を歩いていると、経済成長に伸び悩む日本で将来活動するのでは世界が狭すぎると感じました。もとよりグローバルに行動できる人材になりたいという目標があり、世界の視点から日本の発展に貢献したと思っていましたが、それを再確認そして強化させられるとともに、今後より一層の努力を行おうと決意できました。